



図 1. マルチビガムシ.



図 2. ゴマダラチビゲンゴロウ.



図 3. 生息環境.

キバラハキリバチの神戸市垂水区からの記録

吉田浩史

キバラハキリバチは膜翅目ハキリバチ科に属するハチの一種であり、腹部の黄褐色の毛帯が特徴である。

本種は、以前は中部地方以南に分布するとされ(長瀬, 2014), 海浜性の稀種と考えられてきた。環境省のレッドリストにおいても準絶滅危惧種に選定されている(環境省, 2020)。

しかし近年、関東・東北地方から相次いで記録され、分布拡大の可能性も指摘されている(郷右近・前田, 2020; 金杉, 2022)。また、海浜以外の内陸部からも記録されている(松本, 2010; 上森, 2017; 金杉, 2022; 須黒, 2022; 渡邊, 2022)。

兵庫県では、南あわじ市沼島(岡田, 1981)、尼崎市西武庫公園(上森, 2017)から少数の記録があるのみであった。今回、神戸市から初記録として報告する。

データ

膜翅目 ハキリバチ科

キバラハキリバチ

Megachile xanthothrix Yasumatsu et Hirashima, 1964

神戸市垂水区海岸通, アジュール舞子, 1 ♂ (写真 1; 目撃・撮影のみ), 23. VIII. 2022, 吉田浩史。

海岸に近い公園のハマゴウの周辺を飛び、時折葉にとまる行動が観察された。

当時捕虫網を持っていなかったため、採集することはできなかった。一週間後の 8 月 29 日に同地を訪れ、周辺を探索したが再確認には至らなかった。

○参考・引用文献

郷右近勝夫・前田泰生, 2020. キバラハキリバチの宮城県と島根県からの採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (23): 281-282.

金杉隆雄, 2022. 群馬県におけるキバラハキリバチ(ハチ目: ハキリバチ科)の記録. 群馬県立自然史博物館研究報告, (26): 179-180.

環境省, 2020. 環境省レッドリスト 2020. (<https://www.env.go.jp/press/107905.html> : 最終閲覧日 2022 年 9 月 25 日)

松本吏樹郎, 2010. おすすめ、長居公園のハチウォッチング. Nature Study, 58(7): 2-4.

長瀬博彦, 2014. キバラハキリバチ. 多田内修・村瀬竜起(編), 日本産ハナバチ図鑑: 302, 文一総合出版, 東京.

岡田清隆, 1981. 南淡路島産蜂類採集記録 (I). Parnassius, (25): 13-16.

須黒達巳, 2022. 慶應義塾幼稚舎で記録された昆虫およびクモ. ニッチェ・ライフ, 9: 37-67.

上森教慈, 2017. 兵庫県尼崎市の都市公園におけるハチ相. きべりはむし, 40(1): 4-8.

渡邊賢司, 2022. 千葉県松戸市におけるキバラハキリバチの記録. すがれおい, (1): 16-18.

(Hiroshi YOSHIDA 神戸市東灘区)



写真 1 キバラハキリバチ(筆者撮影)。